

2016年12月26日

株式会社 GENUSION への支援決定の撤回について

株式会社産業革新機構(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝又幹英、以下「INCJ」)は、2010年に投資決定を行った次世代型フラッシュメモリの開発を行う、株式会社 GENUSION(本社:兵庫県尼崎市、代表取締役社長:中島盛義)が破産手続き開始の決定を受けたため、産業競争力強化法(平成25年法律第98号)第100条第1項第2号に基づき、同社への支援決定を撤回しました。

参考)INCJは、2010年5月に「本邦初の本格的ファブレス・フラッシュメモリ・ベンチャーに投資～次世代型フラッシュメモリ技術の事業化を行う株式会社 GENUSION に対する投資を決定～」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1417413652.01.pdf>

株式会社 GENUSION (ジェニュージョン) について

設立	2002年
事業内容	次世代メモリ・ソリューション事業
所在地	兵庫県尼崎市
代表者	代表取締役社長 中島 盛義
URL	http://www.genusion.co.jp

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21階
電話: 03-5218-7202 URL: <http://www.incj.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社 GENUSION

- ・設立 : 2002年11月
- ・代表者 : 中島盛義
- ・所在地 : 兵庫県尼崎市
- ・事業内容 : 次世代メモリ・ソリューション事業

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 26億円(上限)
- ・実投資額: 非公表
- ・共同投資家: 非公表
- ・株式保有割合: 非公表
- ・支援決定公表日: 2010年5月
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1417413652.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417413818.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

GENUSION は、2002年設立の次世代型フラッシュメモリの開発ベンチャー企業で、生産は外部に委託するファブレス型のビジネスモデルをとっていました。同社の中核技術は B4-Flash メモリと呼ばれ、大阪大学、東北大学、インド工科大学などとの共同開発により生まれた次世代型フラッシュメモリ技術です。従来の、NAND 型や NOR 型に比べ、高速書き込み、高速読み出し、データ保持の高い信頼性という特徴を持っています。

INCJ は、GENUSION の事業が、国内外とのオープンイノベーションで得られた革新的フラッシュメモリ技術を基に、大手企業との協業により成長市場の開拓を行う本格的ファブレス・ベンチャー企業であると判断し、2010年5月、26億円を上限とする投資枠を決定し、当面の成長資金として約16億円の投資を実行しました。

(2) 事業の進捗

INCJ が投資後、GENUSION は、F4-Flash メモリの製品開発に着手しましたが、量産開始時期が計画よりも遅延していました。2014年3月には、生産委託先を確保し、共同開発パートナーと仕様を合意したため、当初設定したマイルストーンを達成したと判断し、追加投資を実行しました。

その後、製品の開発には至ったものの、市場環境の変化により、当初期待されていたターゲット市場での展開が困難となってしまいました。製品は適用可能なアプリケーションが限定的な仕様であったため、横展開が困難でした。このような状況の中、新たな製品開発を検討するも、資金的に困難な状況が続きました。

(3)Exit の経緯・内容

単独での事業継続の検討に加え、同業他社との提携も模索しましたが、2016年12月、破産手続きの開始を余儀なくされるに至り、INCJは同社への支援を撤回しました。